

# いほっと通信



VOL.44  
2016.8.15発行

## ～市民活動センター主催事業～

### おしゃべりカフェ 開催!!!

ボランティア、NPO、地域団体などの市民活動をされている方同士の交流会&出張ボランティア相談を開催します。

これからボランティアを始めたい方やボランティアについて知りたい人も大歓迎です!

お茶を飲みながらゆっくりと色々な話をしませんか?

多くの皆さまのご参加をお待ちしております!!

日時: 9月8日(木) 13:30~ 場所: アネッサ(市原市権津 1131)

参加費: 無料 問合せ先: 市民活動センター(20-3100)



昨年度の「おしゃべりカフェ」の様子です!!

### ボランティア全国フォーラム2016 開催!!

ボランティア・市民活動を地域で牽引していく団体や個人の方々の全国的な実践交流、情報共有・相互研鑽の場となることを目的に、開催されます。

期日: 11月5日(土)~6日(日) (5日: 13:00開会、6日: 15:00閉会)

会場: 国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区代々木神園町3-1)

申込期限: 9月30日(金) 定員数: 700名(※定員になり次第締め切り)

参加費: 5,000円

主催: 「広がれボランティアの輪」連絡会議 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

問合せ先: 「広がれボランティアの輪」連絡会議事務局

TEL: 03-3581-4656 Mail: info@hirogare.jp

詳細はこちら: <http://www.hirogare.net/>



### \*ボランティア募集\*

千葉県視覚障がい者福祉大会における案内ボランティアを募集!

市外から来られる方が多いので、五井駅の改札口での案内や、バス乗り場までの誘導、バス停からYOUホールまでの誘導、会場内の案内をしてくれる方を募集します。ほとんどの方は、ガイドヘルパーと来るので、主に案内・誘導・会場準備をお願いします。

日時: 10月14日(金) 8:30~16:00頃の予定(お弁当と交通費が出ます)  
問合せ先: 市民活動センター(20-3100) 申込締切日: 9月8日(木)まで

※10月4日(火) 13:00よりYOUホール3階多目的ホールにて打ち合わせを行います。こちらへの出席も併せてお願いします。



# 市原ポッチャクラブを取材しました♪

★2016年9月7日より、パラリンピックリオデジャネイロ大会が開催されます！そして、2020年には、東京が会場予定地となり一層注目も高まっています！  
その中で、選手たちを陰で支えているサポーターの方たちにお話をうかがいました。

## 審判をしている様子



## ◎ポッチャ (Boccia) とは・・・??

1988年、ソウルパラリンピック大会において公開競技として実施され、1992年バルセロナパラリンピック大会から正式種目となりました！！

基本的なルールは、目標となる白いボール（ジャックボール）をコートに投げ、赤と青6個ずつあるカラーボールを、よりジャックボールに近づけた方が勝ちというゲームです。

投げる・転がす・足で蹴るのどの方法でもよく、投げたりするのが難しい選手は、補助具（ランプス）を使うこともできます。

最近では、子どもからお年寄りの方、障がい者と健常者の区別なく誰でも簡単に楽しめるレクリエーションゲームとして広がっています。

## ◎「市原ポッチャクラブ」代表：門脇（かどわき）さんにお話を伺いました♪

市原ポッチャクラブは平成14年から活動を開始。発足当初は選手やサポーターを含め5名でしたが、現在は選手20名、サポーター10名と計30名で活動をしています。

市原ポッチャクラブは、「誰もが健康で楽しみながら交流や社会参加をしてほしい」というスローガンのもと、選手一人一人の様々な出会いや情報を共有・活用して、新たな発見に繋がっていく社会参加向上をサポートしており、障がい者と健常者との交流に取り組む市民団体です。今後も「ポッチャ」競技を市民の皆さんにより知っていただくとともに、ご参加・ご協力、ご賛同いただける個人・団体を増やして、「共生社会」づくりの一端を担うことができれば嬉しいです。

練習日は、毎週木曜日にアネッサ、日曜日にサンハートで月8回実施、交流会や大会等にも参加しています。アネッサ体育館練習時（木曜）にボールや会場での用具の準備などを手伝ってくれるサポート会員を募集中です。（見学・体験可）

詳細については、下記までご連絡ください。



リオパラ日本代表  
廣瀬選手への  
応援メッセージ

今年のパラリンピックに出場  
される大注目の選手です。

## ◎「廣瀬隆喜（ひろせたかゆき）」選手にお話を伺いました♪

高校3年生の時にポッチャを始め、時には結果が伸びず悩んだこともありましたが、コーチのアドバイスを聞き、一つ一つ修正していくことで結果に結びつくことができました。私は、個人戦よりも団体戦で勝利を収めた時の方が喜びが大きいです。勝利したときに、仲間と握手やハイタッチなど、喜びを分かちあうことで、ポッチャをやっている良かったと感じます。

これまで、市原ポッチャクラブの関係者をはじめ様々な方に支えられてきました。恩返しは、結果を出すことだと思っているので、ベストを尽くせるように頑張りたいです。

ポッチャは、歴史としてはまだ浅く、知名度も低いですが、今後多くの人に「ポッチャ」を知っていただきたいです。そして、2020年の東京パラリンピックでは、関係者だけでなく、地域の方々や応援して下さる方を含めて、会場を満員となるようにしていきたいです。応援よろしくお願いたします。



廣瀬選手の練習風景

問合せ先（代表：門脇 倭雄） TEL：090-9806-8517  
Mail：k-smrt@herb.ocn.ne.jp

# 内田未来楽校を取材しました♪

★廃校を再生し、地域の活力を取り戻すための活動拠点づくりに向けて★

## ◎団体の設立・活動経緯

- 平成 24 年末 廃校となった旧内田小学校の木造校舎が売りに出された。
- 平成 25 年 5 月 「報徳の会」設立。会長：常澄良平  
報徳の会と土地の地権者で取得契約交わす 5 年間で代金返済
- 平成 26 年 3 月～5 月 いちはらアート×ミックス 2014 の会場及び開催の協力
- 平成 27 年 5 月 アートいちほら 2015 春 自主企画で運営し、開催
- 8 月 公益財団法人 ちばのWA地域づくり基金 事業採択
- 10 月 アートいちほら 2015 秋 自主企画で運営・開催

- 里山ハイキング、桜川探検、メダカの学校訪問、ホテル観察会、内田の歴史探訪などの実施。
- 市原市・千葉大学等の機関や「米沢の森を考える会」など各種団体と連携した活動を実践  
⇒学校という拠点を生かし、校舎や周辺の環境など、地域資源を活用し活動しています。  
この木造校舎は、歴史的財産としてとても貴重で、多くの住民にとっては「思い出の校舎」です。  
すべての世代の人たちが楽しめ、元気になるように。地域の活力や人と人の繋がりを創りだし、次世代へと存続させていきたいという思いから「内田未来楽校」を始めました。



←この蝶は、来年のアートミックス 2017 までに千個作成する予定です。  
毎月第 3 土・日曜日に、「刺繍カフェてふてふ」をオープンしています。材料は内田未来楽校で受け取ることができますので、是非一緒に作りましょう！



## ◎活動していく中での課題

- \* 老朽化した校舎の維持管理費を今後どのように確保するのか。  
資金源をどう構築していくか  
⇒「ちばのWA地域づくり基金」の採択を受けて屋根の修理の為、寄付金を募集しています。  
NPO 法人化することで金融機関からの融資など資金確保の選択肢が広がることになります。
- \* 定款の作成および関係機関との協議など、NPO 設立に向けた取り組み  
⇒任意団体では土地の名義を登記できないこと、組織の強化・信頼性・透明性を確保し、支持者を増やす必要性があることなどから、NPO 法人化を目指します。

### \* 後継者の育成

⇒会員の年齢が高いことから、今後若い世代を巻き込みながら後継者を育成する必要があります。

## ◎常澄 良平（つねずみりょうへい）会長からのメッセージ

『活動当初は校舎を活かすことを中心に考えていましたが、大事なことはこの校舎に集まる人々が生き生きとすることで、初めて校舎も活きることに気づかされて、今は全ての世代に楽しめていただけるような取り組みを進めています。』

地域の人々が繋がっていくこと、お年寄りの方々の意欲が湧いてくること、子どもたちが遠方から駆けつけ、自然の大切さをわかってくれること、卒業生が内田未来楽校において再会してくれること。そのひとつひとつが、本当にかげがえのないものであると痛感しています。地域の魅力を再発見し、愛着を育み、人と人との結びつきをつくることを嬉しく思います。地域の活力は、地域課題の解決に繋がり、次世代に明るい未来を引き継ぐことが可能となります。

今後、誰もが気軽に利用できる場所としての雰囲気づくりやイベントの企画（絵画の展示会やギター演奏会）、PR 活動などを重点的に行っていくと考えています。また、個人やグループで作られた作品の展示、スペースの提供や演奏などを発表する場として活用していただければと、貸館も行っています。利用したい方は下記までご連絡ください。

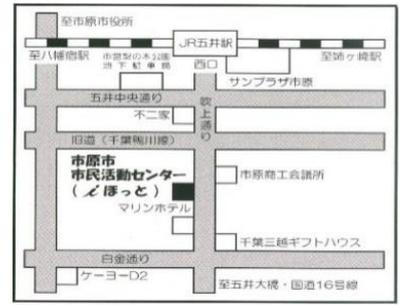
是非、内田未来楽校に来られ私たちの活動を見て頂ければ幸いです。



# 助成金情報

- ★未来を強くする子育てプロジェクト 【分野】子ども（子育て）  
【助成団体名】住友生命保険相互会社  
【募集期間】9月5日（月）必着
- ★2016年度市民ネットワーク千葉県元気ファンド【分野】地域  
【助成団体名】市民ネットワーク千葉県元気ファンド事務局  
【募集期間】9月30日（金）必着
- ★重い病を抱える子どもたちの学び支援活動助成【分野】子ども  
【助成団体名】公益財団法人 ベネッセ子ども基金  
【募集期間】8月31日（水）必着
- ★未来の担い手を未来の担い手と創造する持続可能なコミュニティ  
「しらべる助成」 【分野】地域  
【助成団体名】公益財団法人 トヨタ財団  
【募集期間】9月1日（木）～9月30日（金）15:00まで

## ★市民活動センター案内図★



←詳細等については、各団体のHPまたは、市民活動センターにご連絡ください。  
他にも助成案内がございます！

## 市民活動センター新規登録団体(6月～7月)

団体名	活動内容
ムジカ・サンクチュエール	軽音楽バンド（ウクレレやボンゴ等）でハワイアン、歌謡曲、ナツメロを演奏
いちはら花クラブ	更級公園バラ園の手入れや、「いちはらオープンガーデン」への協力
日本の旅	施設等で日本各地の写真をスライドショーにて上映
房総古代道研究会	駅家（えきか）などを研究し、保存する活動
健幸寿命のばす会	自分でできる体力測定のやり方を教え、自身の体力を知っていただく

### \*市民活動センターをご利用ください\*

利用日時：月～土曜日：午前9時～午後9時、日曜日：午前9時～午後5時  
※平日・土曜の夜間（午後5時以降）及び日曜日の利用は、利用日の前月1日までにセンターに申し込んでください。

利用対象：市内で市民活動を行っている（行おうとしている）団体・個人。  
または、市内に在勤・在宅の方で市民活動に伴う会議・研修及び地域福祉を推進するための活動など。

### \*ボランティア・市民活動団体登録状況\*

(平成28年7月末現在)

ボランティアグループ	193 団体	4,822 人
個人	—	179 人
合計	193 団体	5,001 人

### \*掲載記事を募集します\*

通信に載せる記事を募集しています。ボランティアの依頼や行事の開催など、ご協力いただける方は下記までご連絡ください。次回は11月15日に発行予定です。

### \*iほっと通信はこちらで入手できます\*

- 郵便局：市原、姉崎、市原南郵便局
  - お店：スーパーマーケットたかはし、アピタ市原店、スーパーマーケットしげのや、イトーヨーカドー姉崎店、マックスバリュウ辰巳台店、スーパーわかば、酒屋「榊原屋」（上高根）、居酒屋「石狩」（姉崎）、アートおおがき（五井金杉）、美容室「ルーム」（西国分寺台）、美容室「ピュアルーム」（八幡）
  - 各行政機関でも入手できます。
- ※市原市社会福祉協議会HPからもダウンロードできます。

	貸出施設名及び利用形態
1 F	会議室（20～30名）
2 F	フリースペース
	多目的 A（20名以内）
	多目的 B（10名以内）
	作業室
	コミュニティルーム(80名以内)

《発行元》 社会福祉法人 市原市社会福祉協議会 市原市市民活動センター

所在地：〒290-0081 千葉県市原市五井中央西 2-22-4

TEL：0436-20-3100 FAX：0436-20-3113 E-mail：[vc@ichihara-shakyo.or.jp](mailto:vc@ichihara-shakyo.or.jp)

ブログ：<http://blog.canpan.info/ihot/>（ボランティア情報や助成金などについても投稿しています！）

市原市社会福祉協議会HP：<http://www.ichihara-shakyo.or.jp/>